

育てて、観察して、収穫して、食べる活動

2学期も、「育てて、観察して、収穫して、食べる活動」が始まりました。9月2日（火）に学年園のポップコーンの収穫をしました。実入りはあまりよくありませんでしたが、1人、1、2本収穫することができました。それを乾かして、今度、ポップコーンにして1年生みんなで食べる予定です。

4日（木）、5日（金）には、学級園の草抜きをして、肥料を混ぜて耕しました。夏休みに草がたくさん生えていましたが、頑張って抜きました。8日（月）には、ジャガイモの種イモや芽キャベツの苗、えんどう豆の苗を観察して、学級園に植えました。これから、これらの作物を大切に育て、収穫の喜びを味わえるようにしていきます。他にも、学年園に植えたサツマイモの収穫をし、1年生でサツマイモ料理を作る予定です。



秋の海探検

9月19日（金）の3・4校時に、学校の西側の堤防の下の海岸で、海の生き物探しを1・2年生でしました。石をはぐったり、網を海の中に入れたり、岩場に残った水溜りを見たりして生き物を探しました。3か月前にも同じところでしたが、6月にはいなかったイソギンチャクやエビを見つけることができました。

帰る間際には、岩にひっついたつぶ貝を12個捕り、食べるということで一旦、教室に持ち帰りました。

5校時は、海探検のまとめで、つぶ貝の観察記録を書きました。つぶ貝を机の上に置くと、動き出し、興味深く観察しました。観察記録には、「うみたんけんについて、つぶかいを12こもみつけました。いちばんおおきかったのは3センチでした。」と書きました。1学期から、インゲンマメやトウモロコシなどの作物の観察をし、数や大きさについて記録してきました。それで、今回のつぶ貝の観察も、自分で数や大きさについて記録することができました。

